

HISTORY OF ATSUMI-HANTOU

渥美半島2万年の歴史を探訪する

田原市博物館 企画展

ふるさととの歴史展



縄文人

岡田虎二郎

渡辺華山

貝塚

渥美窯

田原城

六階建

- ① 深鉢型土器 伊川津貝塚 縄文時代後期
- ② 蓮弁文広口壺 坪沢10号窯 鎌倉時代初期
- ③ 田原城修理絵図 正徳5年(1715)部分
- ④ 陸軍「伊良湖射場」氣象塔兼展望塔

令和2年

10.3(土) ▶ 11.29(日)

休館日 毎週月曜日

但し、11/23(月・祝)は開館、11/24(火)は休館

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一般 400円(320円) 中学生以下無料

()は20人以上の団体料金、毎週土曜日は高校生も無料

《同時開催》重要文化財 渡辺華山関係資料

ご来館にあたって 新型コロナウイルス感染症予防について

- 発熱・咳などの風邪症状がある方はご来館前に医療機関にご相談くださいようお願いいたします。
- 入館後は、身体的距離の確保、マスクの着用、手指の消毒にご協力ください。また、展示ケース、壁などを触らないでください。

田原市は三方を海に囲まれ、自然豊かな渥美半島にあります。

この渥美半島に人が住むようになって既に2万年が経過しています。この間、多くの人々がこの地で生まれ育ち、生活しました。人々は骨や貝から道具やアクセサリを作ったり、浜辺で塩を作ったり、窯で焼いた陶器を全国に出荷したり、河口近くの港で交易をしたり、合戦に動員されたり、そして田畑で数多くの作物(米、小麦、サツマイモ、桑の木、大根、メロン、キャベツなど)と、花々を栽培してきました。近代になると、渥美半島を豊かにするために、豊橋から田原に鉄道を通したり、遠く奥三河から用水路を引いてくるような事業も、地域内外の人たちの手によって取り组まれました。

この企画展では、こうした歴史を「大貝塚の形成」「古代の塩づくり」「渥美窯」「渥美半島の支配者と領民の暮らし」「豊川用水」など、特に渥美半島にとって重要と思われるテーマに基づいて、我々の先人が残してきたふるさととの資料を取り上げ、2万年間を一気に振り返ります。そして、現在の渥美半島に暮らす我々自身の来し方行く末を改めて考えるきっかけになればと思います。

田原市博物館 ☎22-1720



ホームページ



TAHARA MUNICIPAL MUSEUM

Instagram始めました